

平成28年度「防災情報セミナー」

～災害時に役立つICT利活用の動向について紹介～

大きな災害が発生した際には、事前に準備ができているかどうかで被害やその後の状況が変わっていきます。ではどのように準備すればいいのでしょうか。その一つに「情報」があります。

災害が起こるたび情報の大切さが注目され、その活用が行政など関係機関のほか、住民一人一人の「備える防災」にも広がっています。瞬時に情報を収集したり、膨大な情報の中から必要なものを取り出したり、とっさの判断等を補う情報を提供することは、情報通信技術（ICT）が大変得意とするところです。

今回のセミナーでは、災害発生・対応のフィールドや災害に直面した際の情報通信ネットワークの確保、情報の収集・伝達に役立つシステムやスマホアプリなど、防災・減災の即戦力となるICTについて講演、事例紹介及び機器展示により紹介することとしています。皆様の防災対策の一助になれば幸いです。

- 日時 平成28年11月2日（水）
講演、事例紹介 13:20～17:00
機器展示 12:00～17:20
- 場所 岡山国際交流センター 2F「国際会議場」（機器展示は3F「研修室」）
岡山市北区奉還町2-2-1
- 定員 80名（どなたでも参加できます。参加費無料）
- 主催 中国総合通信局、中国情報通信懇談会
- 後援 中国地方非常通信協議会

----- プログラム -----

- 講演（各60分）13時20分～15時30分
 - ①自動車やスマートフォン等を利用した非常時の通信ネットワークの構築について
講師：総務省総合通信基盤局電気通信事業部
電気通信技術システム課企画係長 河合 直樹
 - ②災害時に役立つスマホアプリ
講師：ハーバー・ソリューションズ株式会社 代表 久賀 公夫 氏
- 事例紹介（各20分）15時50分～17時
 - ①平成28年熊本地震における九州総合通信局の対応
講師：九州総合通信局防災対策推進室長 千田 信久
 - ②江田島市の防災ARアプリ
講師：江田島市危機管理課課長補佐 速山 政治 氏
 - ③香川県直島町のタブレット端末を利用した情報伝達システム
講師：直島町総務課主査 中野 崇 氏
- 機器展示（3F研修室）
概要は裏面に記載

○申込方法

参加希望の方は、[防災情報セミナー参加申込]に必要事項を記載の上、FAXでお申込みください。
なお、電子メールの場合は、必要事項（氏名、所属、部署・役職等、連絡先（電話番号又はメールアドレス）を本文に記載の上、件名を「防災情報セミナー参加希望」として送信してください。

申込先：中国総合通信局防災対策推進室

e-mail：bousai2-chugoku@ml.soumu.go.jp

FAX：082-221-0075（お問い合わせ：電話082-222-3398）

機器展示（3F研修室）

- 災害に強いMCA無線システム（一般財団法人移動無線センター 中国センター）
- ドコモの雨量観測サービス「どこでも簡測」／画像鮮明化装置「Red Super Eye G2」（株式会社NTTドコモ）
- 災害時の通信システム 可搬型衛星ブロードバンドサービス（株式会社シーオーテック）
- IP告知放送システムと長距離スピーカー（TOA株式会社）
- 被災者生活再建支援システム（西日本電信電話株式会社）
- 土砂災害予兆検知システム（日本電気株式会社）
- アタッチケース型ICTユニット（日本電信電話株式会社 未来ねっと研究所）
- 現場活動をささえる防災情報ネットワークシステム（富士通株式会社）

中国総合通信局 防災対策推進室 行き

e-mail: bousai2-chugoku@ml.soumu.go.jp
FAX: 082-221-0075

防災情報セミナー参加申込

	所属(会社・団体名等)	部署・役職等	氏名
参加者氏名等			
連絡先(電話番号 又は メールアドレス)	(参加者が複数の場合は、代表者の方のみ)		

※ 参加申込に際しお知らせいただいた個人情報につきましては、本セミナーの参加申込の確認や緊急の連絡以外には利用いたしません。
本セミナー終了後は、速やかに処分いたします。